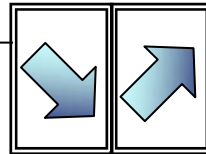


経済フローチャート

～日本経済の現状と6ヶ月見通し（10月2日時点）～

国内景況感

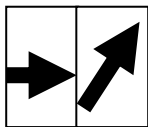
復興需要の顕在化により公共投資は好調さを持続しているものの、輸出が低調に推移していることに加え、エコカー補助金終了後の自動車販売減少により個人消費も悪化しており、景気は悪化している。2013年には輸出の回復に伴って景気は緩やかに持ち直すと予想するが、下振れ懸念は残る。



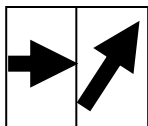
現状 6ヶ月後

(2012年10-12月期) (2013年4-6月期)

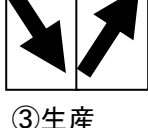
①世界経済



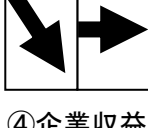
②輸出



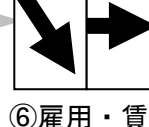
③生産



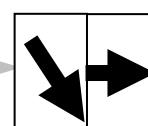
④企業収益



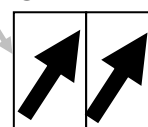
⑥雇用・賃金



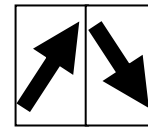
⑦個人消費



⑧住宅投資



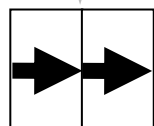
⑨公共投資



⑤設備投資



国内需要



⑩物価

(注) 矢印の方向は、各種関連統計、当社経済見通しなどを勘案して、判断している。

| | コメント |
|---------|--|
| ① 世界経済 | <ul style="list-style-type: none"> ・足元の世界景気は、欧州経済の失速や新興国景気の鈍化により成長ペースが抑制されている。先行きは、新興国が金融緩和や財政政策などにより再加速することで、世界景気は成長ペースを小幅速めると見込まれる。一方で、欧州債務問題の波及懸念は根強く、今後も経済成長の加速を妨げる要因となる可能性が高い。 ・米国経済は、「財政の崖」、世界経済の先行き不透明感の高まりなどを背景に緩やかな成長にとどまっている。13年初には世界経済の持ち直しによる成長率の下支えが期待されるものの、大幅な歳出削減により景気は再減速する見込み。 ・ユーロ圏経済は、厳しい歳出削減等により景気底打ちのタイミングが後ずれしている。先行きにおいても、債務問題の広がり回避のための財政規律の強化、金融市場の混乱などにより、低成長が続くと見込まれる。 ・アジア経済は、過去の金融引き締めや欧州債務問題の深刻化等によって、昨年の高成長から減速している。しかし、中国などでの金融緩和や景気対策などの実施により、今後緩やかなペースで再加速すると予想される。 |
| ② 輸出 | 中国向けや欧州向けの不振が続いていることに加え、好調だった米国向けも足元で減速しており、輸出は牽引役不在の状態にある。先行きは、中国経済の持ち直しなどを背景に回復に向かうことが期待されるが、不透明感は強い。 |
| ③ 生産 | 輸出の回復が遅れていることに加え、エコカー補助金終了に伴う自動車の減産が行われることから、生産は足元で減少している。先行きは、輸出の持ち直しが生産押し上げ要因になるが、回復力は鈍いものになると予想される。 |
| ④ 企業収益 | 生産活動の減速感が強まっていることから、企業収益に頭打ち感が出ている。13年度に入ると輸出の持ち直しにより回復が期待されるが、原油価格の上昇による下押しがあるため、増益ペースが顕著に高まるには至らないだろう。 |
| ⑤ 設備投資 | 復興需要による下支えはあるものの、景気の先行き不透明感の強まりにより企業マインドが悪化しており、足元で投資手控えの動きが出ている。当面、設備投資は横ばい圏で推移するとみられる。 |
| ⑥ 雇用・賃金 | 生産の減少に伴って、先行指標である求人数がピークアウトしているため、雇用は当面弱含む可能性がある。冬のボーナスも減少が見込まれるなど、賃金環境も厳しい。当面、こうした動きが続くだろう。 |
| ⑦ 個人消費 | エコカー補助金効果の剥落から自動車販売が大幅に減少していることを主因として、個人消費は足元で悪化している。13年入り後は、自動車の反動減が収束に向かうと予想されるが、所得の伸び悩みやマインドの頭打ち等のマイナス材料があるため、消費の回復ペースは緩やかなものにとどまる見込み。 |
| ⑧ 住宅投資 | 被災地での復興需要が顕在化しつつある。今後はこうした動きが強まると見られ、住宅投資は緩やかに改善すると予想される。14年4月の消費税引き上げを睨んだ駆け込み需要も徐々に顕在化する見込み。 |
| ⑨ 公共投資 | 復興需要が本格化しており、公共投資は被災地を中心として増加している。だが、13年入り以降は次第に効果が一巡するため、公共投資は減少に転じる可能性が高い。 |
| ⑩ 物価 | 需給ギャップが依然マイナス圏にあり、物価下落圧力は根強い。9月に一部地域で電気料金の大幅値上げが実施されたことが押し上げ要因にはなるものの、当面、物価は前年比小幅マイナス圏で推移する見込み。 |